

ひろしまフラワーフェスティバル 人々が法輪功を理解

日本各地から集まった法輪功学習者（以下、学習者）が5月3日、広島市中区の平和大通りで開催された第47回ひろしまフラワーフェスティバル（FF）の総合パレードとステージに参加した。多くの観客がこのフェスティバルを通じて法輪功を知り、とても良かったと語った。

FFフェスティバルは、花をテーマに平和を世界に発信するもので、毎年国内外から160万人以上の観客が訪れる。今年は5年ぶりの通常開催で、予想通り多くの観客が訪れた。実行委員会の調べによると、初日の来場者数は75万2000人を超えた。

総合パレードに参加したのは、75団体、6000人以上。参加した法輪功の隊列は天国楽団が先導し、花車や煉功チーム、腰太鼓チームが続き、浴衣姿の学習者が沿道の観客に手を振りながら煉り歩いた。観客は写

真やビデオで撮影し、広島RCCテレビはパレードの様子を生中継した。

「法輪功のことを知ることができてよかった」

パレードが始まる前に、立神智弘さんのご家族が法輪功の隊列前を通りかかった。学習者は法輪功を紹介し、これからパレードに出場すると伝えた。法輪功の出場時間を聞いた立神さんは「法輪功を初めて知ったので、パレードを楽しみにしています」と話した。

フラワーショップを営む蔵田和恵さんは、パレード当日に朝早くから会場に花を届け、学習者の設営を手伝っていた。学習者と会話する中で、蔵田さんは、中国共産党（以下、中共）が長年にわたって法輪功を迫害し、学習者から臓器収奪してきたという事実を初めて知って驚いた。後で再度会場を訪れ、法輪功のパ

レードを見ようと決めた。

蔵田さんは学習者に「素晴らしい団体ですね、花車はとてもいい、可愛いです。（法輪功を）初めて知ったので、良かったです。あれ（迫害）にはびっくりしました。全然知らなかったので、いい機会になりました。今日、法輪功のいろいろ知ることができて本当によかったです」と話した。

パレードを見ていた日本人男性とインドネシアの友人は、学習者の説明を聞いて、法輪功について理解した。男性は「法輪功が世界中に広まっているのに、発祥の地である中国で中共によって迫害されているのは、極めて皮肉なことだと思います。法輪功の修煉は他人に迷惑をかけないし、人間は自由であるべきで、まして共産政権が弾圧す



■パレードで行進中の法輪功チーム

る資格はないと思います。今回、法輪功、迫害のことを知ることができて良かったです」と語った。

「来年も来てください」

午後、学習者はステージに参加し、天国楽団による演奏、腰太鼓の舞い、法輪功の五式の功法を披露した。大勢の観客が熱心に見入り、中には学習者の動きを真似る観客もいた。

現地の学習者によると、ステージ参加前にエピソードが

あった。当初、法輪功チームの出演はキャンセル待ちになったが、学習者は参加に向けて真剣に準備をしていた。すると主催側から「ステージの空き時間があったので、出演できるようになった」と連絡が入った。その時間も場所もちょうど良いものだった。

ステージ終了後、学習者が会場のスタッフに挨拶すると、スタッフは心から笑顔で「また来年も来てください」と言った。

震災後の「百万石まつり」 法輪功チームが参加

日本各地の学習者は6月1日、石川県金沢市で開催された「金沢百万石まつり」に参加した。学習者は、華やかで活気あふれる踊りを披露し、沿道の観客に法輪功を紹介する資料を配布し、震災後の人々を励ました。

金沢百万石まつりは、金沢地区で開催される最大の祭りで、毎年40万人以上が訪れる。伝統的な太鼓演奏や獅子舞行列、百万石行列、そして「百万石踊り流し」を楽しむことができる。今回は、1月の地震を経験した後に開催さ

れた大規模なもので、観客数は前年より2万人以上多かった。会場は観客であふれ、有料座席も早々に売り切れた。

今年は65の団体が参加し、6500人以上が「百万石踊り流し」に参加した。学習者は、

参加団体として踊りを披露し、法輪功を紹介し、法輪功が迫害されている実態を伝えた。

「真・善・忍の価値観を守っていく」

初めて「百万石踊り流し」を見た中村さんは、学習者の踊りを称賛した。学習者は「中国の学習者が残酷な

迫害を受けています」と伝えた。中村さんは「中共政府の改革が必要だと思います」と答えた。

オーストラリア人のデイビッド・エックハードさんも「百万石踊り流し」は初めてで、法輪功の「真・善・忍」の理念を称賛し「素晴らしい価値観です。私たちは守っていくべきだと思います。そうすることで社会全体はより良くなります」と語った。

ネパールから来たカルキさん、コバラジさん、サパンさんは学習者の踊りについて「熱意や楽しさが伝わってきて、見ていて気持ちがいい」と語った。法輪功が迫害されている実態を学習者から聞いて、資料を持ち帰った。

「頑張ってください」

祭りの当日早朝、公園に集まった学習者は煉功を行った。その静かで穏やかな光景が注目を集めた。

近くに住む藤井さんが公園に散歩に訪れた。藤井さんは、学習者から法輪功を紹介されると、法輪功が中国で迫害されていることは雑誌やメディアで知っていると語った。藤井さんは「法輪功は健康のためにやっているだけなのに、中国で迫害されていると言われてはよくないことだと思います。私の周りの友人たちも、中国の現状を憂慮しています」と語った。藤井さんは、中国で命の危険を冒して法輪功が迫害されている実態を伝えている学習者を「頑張ってください」と励ました。



■「金沢百万石まつり」に参加した学習者

第25回世界法輪大法デー 東京で祝賀パレード

今年5月13日は、第25回世界法輪大法デーである。法輪大法（法輪功ともいう）は1992年5月13日に公に伝え出されたことから、2000年から5月13日を世界法輪大法デーとして祝し、世界各地で祝賀イベントが行われている。

学習者は前日の5月12日、東京の繁華街でパレードを行った。パレードは、銀座通りを埋め尽くすほど多くの人々で賑わった。笑顔でパレードに手を振る人も目立ち、法輪功の資料を受け取った人々は、法輪功が迫害されている実態を知った。

午後1時30分に日比谷公園を出発したパレードは、天国楽団を先頭に、功法を実演する煉功隊、腰太鼓を演奏する腰太鼓隊と続いた。

「非人道的な行為に規制を」

帰宅途中だった渡辺さんは、法輪功が中国で迫害されていることは新聞で知っていたという。しかし、中共が学習者から生きたまま内臓を取り出して臓器移植用に売っていることを知

ると、その非人道的な行為に憤慨した。そして「生きたまま内臓を取り出して臓器移植用に売るなんてことは、非人道的なことです」「不法に臓器を買うことを規制して欲しいと思います。不法に臓器を買うことは、道徳心のないことです。違法行為です。非人道的な行為を規制する、あるいは非人道的な行為を行った場合は日本の法律で取り締まる、ということも非人道的な行為を止めるための一つの方法だと思います」と語った。

「パレードを通して中国が変わってほしい」

勉強しようと図書館を訪れたという佐藤さんは、中国という大国で、政府による政治的抑圧



■5月12日に行った東京・銀座でのパレード

で行動が制限されていることについて「そのような政治的抑圧を大国でやっているというのが問題だと私は思っています。中共による政治的抑圧はすでに限界に

達し、人々の怒りがピークに来ていていると思っています。このような中国の社会情勢の中で、デモ活動などをしていかないと中国は変わらないと思いますので、

このようなパレードはすごくいいことだと私は思っています。このようなパレードを通して中国が変わってほしいと思います」と語った。

世界各地からの祝賀

今年も世界各地から、様々な祝賀メッセージ等が送られた。

米国連邦議会議事堂での国旗掲揚

米国では5月13日、法輪大法デーを祝してワシントンD.Cの連邦議会議事堂に国旗が掲揚された。同時にブライアン・フィッツパトリック下院議員（共和党）の要請により「2024年5月13日、国旗を連邦議会議事堂に掲揚した。その教えは、未来の世界のリーダーたちを鼓舞し、自信を与え続けるでしょう」と表彰された。

ベン・カーディン上院議員（民主党）もまた「法輪大法とその真・

善・忍の理念を紹介した李洪志先生に敬意を表して」表彰した。

その他、エリス・ステファニック下院議員（共和党）やハキーム・ジェフリーズ下院議員（民主党）も表彰あるいはレターを送り、ニューヨーク州上院、メリーランド州下院、ミズーリ州上下両院は、法輪大法が伝えられて32周年を表彰する決議を可決した。

各国からの祝賀

英国首相やニュージーランド首相をはじめ、カナダやオーストラリア、ドイツ、イタリア、スロバキア、アルゼンチンなど多くの国の要人が、表彰と祝賀レターを送った。

中国の学習者から

学習者の多くは中国在住で、1999年に法輪功への迫害が始まって以来、数万通ものグリーティングカードを送っている。カードでは、法輪功を学習して健康になり、前向きに生きることができるようになったと感謝の気持ちも表している。



■ブライアン・フィッツパトリック米国下院議員が贈呈した表彰状と国旗



■中国の学習者による絵画：

「真・善・忍は素晴らしい、蓮の花が咲く」



■ベン・カーディン上院議員による表彰

カナダの撮影監督「スキルを向上させる前に思いやりを」

寧艾文 (Evan Ning) さんは、カナダの撮影監督兼照明デザイナーです。ディズニーやワーナー・ブラザーズ、Netflixが制作した映画を含め、多くの著名なハリウッド映画の撮影に参加してきました。法輪功迫害の実態に関する多くの映画でも撮影監督を務めています。その寧さんは、幼い頃から中国で法輪功を学習していました。

法輪功で先天性弱視が正常に

大人の学習者は法輪功の「真・善・忍」の原則を遵守しており、その環境にすることが寧さんの人格に影響を与えました。「当時の私は、自分がどのように扱われたとしても、他人に親切でなければならぬと理解しました」

映画業界でキャリアを追求

欧米の映画業界には、確立された階層構造があります。映画業界の人々は自分の友人や家族にしかチャンスを与え

寧さんは、こう語っています。「私は4歳から眼鏡をかけていました。重度の先天性弱視だったのです。医者は、私が一生眼鏡をかけるだろうと言いました。小学生だった1996年の夏、親戚が私の家族に『法輪功はとても素晴らしいですから、やってみてはどうですか?』と勧めました」

「私が李洪志師父の9日間のビデオ講義を見ている時、眼鏡をかけていると目が不快になったので、眼鏡を外しま

ななかったので、寧さんは大変でした。

「初日に私が撮影現場に入ったとき、みんなはすでに担当を与えられていました。誰も私の存在を認めてくれませんでした。上司から、明日は出勤する必要はないと言われました。その夜、家に帰ってとても落ち込みました」

寧さんは、それが普通の仕事ではないと気づき、続けるにはスキルを学ぶ必要があると考えました。「師父は私に、仕事に専念し、選り好み

した。家族は視力が悪化したのではないかと心配していました。家族が私を診断に連れて行ったところ、視力検査表の最下段の文字を読むことができて、視力は正常だと判明しました」

他人に親切でなければ

「師父は私たちに、より良い人間になるよう教えてくださいました。私は両親と一緒に、集団煉功場や法輪功の勉強に行きました」

しないようにと教えてくださいました」と寧さん。その教えのおかげで最終的に業界で足場を固めることができたと感じたそうです。「効率よく学び、真面目に責任を持って仕事をしたおかげで、同僚たちも徐々に打ち解けていきました。映画の撮影が終わると、いつも新しいクルーが私のところに来てくれました」

スキルを向上させる前に

寧さんは、スキルを向上させる前に、もっと思いやりを持ち、他者に配慮しなければ



■寧艾文さん

ならないといえます。例えば撮影にあたっては「映像を最適なものにしようと、映画監督の視点を実現するために最善を尽くしました。すると結果は期待を上回りました。心が他人に寛容になったとき、私の精神性と視野も広がったのです」

また寧さんは、撮影における他のスタッフを助けるために、映画がどのように制作されたかを詳細に記録し文書化しました。「専門的なスキルが必要なのは私だけではあり

ません。他のスタッフも同様ののです」

寧さんの体験は、学習者が利他的で、争いを起こさないという事例です。映画の観客は寧さんの関わった作品を通して、純粹で明るい内面世界を感じることもできるかもしれません。寧さんはこう語っています。「法輪功の学習は、私の人生の一部です。特別なことではないように思えるかもしれませんが、実際には特別で素晴らしいことなのです」

強迫性障害から抜け出して心身が変容

10代や20代は高い志を持つ時期ですが、台湾の林奕圻さんの心は深く閉ざされ、恐怖と不安に陥っていました。自分の身の回りのことができず、二度も休学になりました。しかし林さんは2021年10月、法輪功と出会いました。真・善・忍の理念の下で強迫性障害を克服し、人生の夜明けを迎えることができたのです。

強迫性障害に苦しめられた

林さんは小さい頃からテコンドーを習い、バレーボールを楽しみ、太陽のように明るい少年でした。しかし中学2年生のときに「潔癖症」になり、それがいけないことだとわかっていても、どうしようもありませんでした。そのため、心理カウンセリングに頼りました。

高等専門学校に進学すると、キャンパスの雰囲気が再び林さんの繊細な神経をかき乱しました。勉強への意欲を失い、半年間耐えた末、つい

に休学を決意しました。休養と調整の末、翌年別の学校に入学し、新たなスタートを切るかと思いきや、思いがけずまたプレッシャーが襲ってきて、心身ともに疲れ果てていました。

強迫性障害と診断された林さんは、2度目の休学となりました。一時期、シャワーを浴びることもできず、歯を磨くこともできないまま、丸2ヶ月を過ごしました。その頃は毎日居間の床で眠り、食事も両親に頼らざるを得なかったのです。



■法輪功の夏休み合宿に参加した林奕圻さん (右)

法輪功で心身の変容を体験

2021年10月末、林さんの母親の会社の教育訓練指導員(カウンセリングソーシャルワーカーだった法輪功の学習者)が、林さんの状況を知り、林さんの家を訪れました。週一回の話し合いで、その指導員は、林さんに人生の本当の意味について話し、「法輪大法は素晴らしい、真・善・忍は素晴らしい」と言う心からの九文字(中国語では九文字)を共有し、『轉法輪』という本を勧めました。

林さんは最初、指導員が宗教を伝えていると思い、少し抵抗がありました。しかし指導員が辛抱強く付き添っていたことにより、この本が貴重な本で、大切にしなければならぬとわかりました。それ以来、林さんは機嫌が悪くなると『轉法輪』を取り出して読むようになり、読めば読むほど、正しい念がだんだん強くなると感じたのです。

林さんはこう語っています。「かつて、自分には関係ない物質(恐怖心)があり、それが自分の体に影響を及ぼし、混乱させているとはっきり感じていました。しかし今は、それがどんどん弱くなっています」

法輪功の学習を続けた林さんは、次第に入浴できるようになり、1週間か、2~3日に一度だった入浴が、毎日できるようになりました。

そして2ヶ月後、林さんは普通に外出できるようになりました。台湾のウクライナ難民のために物資を詰めるボランティアに参加するほどで、リラックスして身軽になりました。

家族への接し方も変化

林さんは健康を取り戻し、心性も大きく改善されました。以前は弟と仲が悪く、不潔で理不尽だと思い、嫌っていました。2歳年下の弟はダウン症児で、言語コミュニケーションと学習に障害があります。林さんは理解や思いやりが欠けていたため、弟を何度も殴ったこともあり、人目を恐れ、一緒に出かけたくなかったのです。

しかし、真・善・忍を学んだ今、林さんは自分自身を変えよう決心しました。障害のある弟を受け入れるようになり、弟を友達として扱いました。そして、不潔で嫌いと思うこともなくなり、一緒に出かけるようになりました。

自我を放下し、林さんは法輪功の教えがすでに自分の心に深く根付いていること、そして両親のおかげで法輪功の機縁をもらったのだと気づきました。林さんは、「これからは法輪功の学習に励み、親孝行し、勉強に勤め、自分の将来の人生が人と自分のためになるようにしたい」と語っています。

専門チームの調査結果、病気治療の有効率97.9%

1992年5月13日、法輪功（法輪大法とも呼ばれる）の創始者・李洪志氏は中国の長春市で心身を鍛える精神修養法を伝えた。

その「真・善・忍」の教えは人々の道徳の向上を導き、五式の動作は健康回復に顕著な効果があると口コミで広がった。そして大多数の法輪功学

習者（以下、学習者）は短期間で病気が良くなり、体が軽い状態を取り戻すことができた。

以下では、広東省の12,553人の学習者を対象として、医師や医学教授等の専門家で構成されたチームによって1998年9月に実施された調査結果を紹介する。

有効率が97.9%

調査対象は、男性が27.9%、女性が72.1%。50歳未満が48.4%、50歳以上は51.6%。一種類以上の疾病を患っていた学習者は10,475人で、2~3カ月から2~3年という期間を経て、全治および基本的に回復したのは77.5%だった。症状が好転した20.4%を加えると、健康回復の有効率は97.9%に至る。

7,170人の学習者が1年間に節約できた医療費は、合わせて1,265万元（約2.5億円、1998年の都市部労働者の平均賃金は約15万円）。89.4%の学習者は法輪大法を通じて精神状態が落ち着き、道徳が向上したという。徹底的な自我の抑制と向上も見られた。

多くの人が実感した不可思議な現象

一、驚異的な改善のスピードと効果

多くの学習者は、法輪功を学んで心身ともに改善した。しかもそのスピードと効果は驚異的であった。李先生の講義を聞いてから、あるいは自宅で法輪大法の書籍を読んでから3~5日以内に病気の症状が消え、全身が軽くなった者もいた。大多数は数カ月あるいは1~2年以内に病気の症状が完全に消えたか、好転した。調査対象の12,553人のうち、98%は数年以内に病気治療と健康保持の効果が現れた。一方で、2%の学習者が表面的に効果がないと回答した（ただしその中には、煉功を始める前にもともと元気だった学習者も含まれる）。

二、現代医学の奇跡

多くの学習者は、「薬土瓶」（常に薬を飲む人のこと）か、

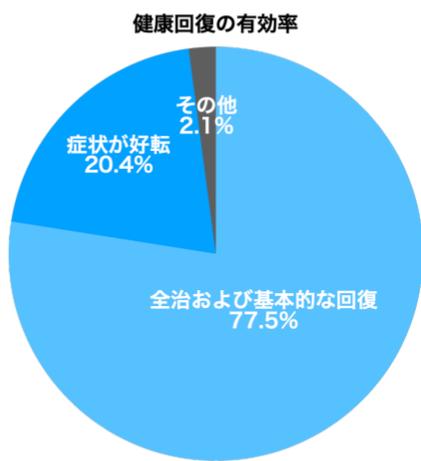
あるいは病院の常連だった。煉功を始めてから間もなく、薬を飲むことも注射もしなかったが、病気が悪化したり、再発したりせず、かえって身体状況はますます良くなった。

三、不治の病も回復

学習者の一部は医学的に頑固な病気、不治の病、あるいは診断できない病気を患っていた。しかし法輪功を通じて、奇跡的に回復した。

四、若返り

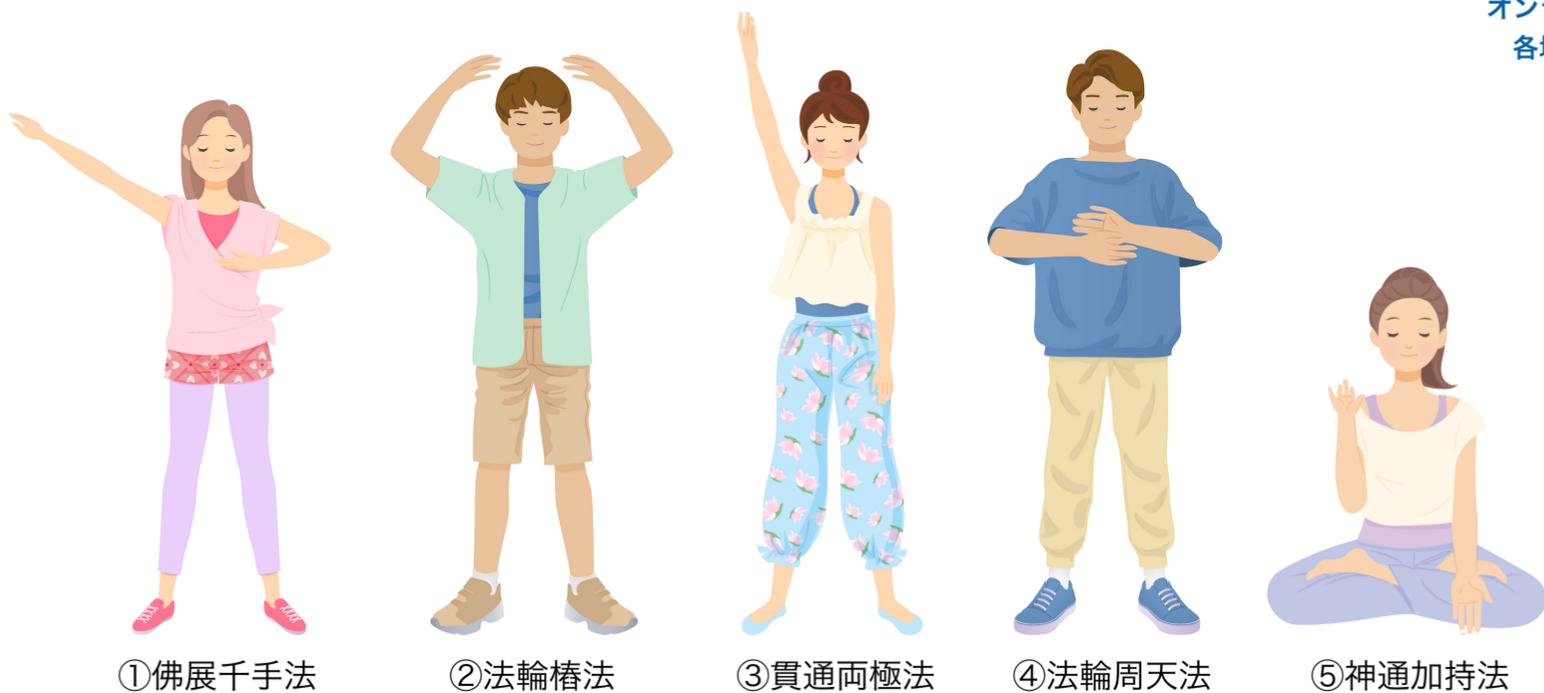
病症が消えただけでなく、体が若い方向へ戻る現象が現れた。年配の学習者の皺が少なくなり、髪の毛が黒くなり、顔色に赤みが差したり、皮膚に張りが出てつるつるになる現象が現れた。特に解釈できないのは、多くの年配女性に生理が戻ったことだった。



心と体を鍛える法輪功 5セットのエクササイズ



オンラインレッスン
各地の気功教室



『法輪功』（ファールンゴン）

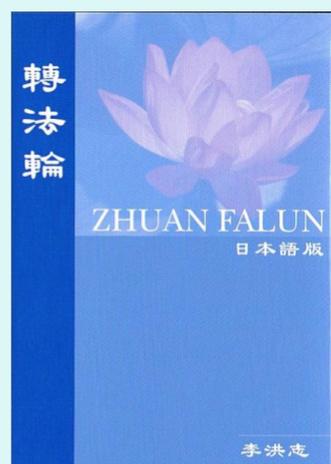
1993年に中国で発売され反響を呼んだ話題の一冊。心身ともに健康になる中国伝統の気功修煉法「法輪功」の入門書。



無料で読む



書籍を購入



『轉法輪』（ジュワンファールン）

1996年に中国北京でベストセラーとなった。「真・善・忍」を理念とする法輪功の修煉を、体系的に指導する最も主要な書籍。



無料で読む



書籍を購入

2024年4月、法輪功学習者84人への不当判決が判明

明慧ネットが報道した情報の統計によると、84人の学習者が不当な判決を受けたことが4月に判明した。不当判決は、中国の17の省、自治区、直轄市に分布している。中には60歳以上の年配の学習者が23人含まれていた（最高齢者は83歳）。迫害の酷かった地域としては、遼寧省が25人、河北省が17人、山東省が9人。中共の裁判所は、学習者から39万5000元を強要した。2024年1月から4月までの累計で、少なくとも334人の学習者が不当な判決を受けたことが判明している。

ニューヨーク州弁護士である葉寧氏は、「これ（迫害）は人道に対する犯罪であり、前例がなく、歴史上においても異例なことである。中共は今日に至るまで学習者を迫害し、殺害している。このよう

な犯罪には必ずや天の怒りがある。このような罪を犯した者は地獄に落ち、人間の正義の罰から逃れることもできない」と述べた。

遼寧省の秦書海さんと劉玉蘭さんに不当判決

遼寧省錦州市義県の学習者・秦書海さん（58歳男性）と劉玉蘭さん（76歳女性）は今年1月18日、法輪功を紹介するカレンダーを村の人々に届けたとして、公安局の国内安全保衛部門（法輪功迫害の実行機関。以下、国保）の警官らに連行された。そして4月12日、錦州市管轄の凌海市裁判所から秦さんに懲役3年の実刑判決、劉さんに懲役2年の実刑判決が宣告された。

秦さんは2002年に法輪功を学び始め、「真・善・忍」の原則に従って良い人を目指し

たことから、心身ともに恩恵を受けていた。秦さんの妻が2013年に脳梗塞で倒れ半身不随になったため、秦さんは10年間、寝たきりの妻の世話をすると同時に、高齢の母親の介護をしていた。妻の家族は皆、秦さんに感動していたという。

2023年10月、秦さんと劉さんは三輪車で村でカレンダーを配布していたところ、村の書記に会い、「誰の家に行くのか、三輪車を何を積んでいるのか」と質問された。そして書記は三輪車に積んであった4箱のカレンダーを押収し、2人を帰宅させた。

今年1月18日、義県公安局国保および特別警察隊の警官ら十数人が秦さんの家に押し入り、秦さんを連行して家宅捜索を行った。その時、秦さんの母親（81歳）はベッドの

上で丸くなって座り、恐怖で震え、急に耳が聞こえなくなったという。秦さんの家にいた学習者の李貴濱さん（75歳女性）と褚洪芬さん（60代女性）も連行され、家宅捜索を受けた。当日、同じ所属の警官が劉さんの家に押し入り、劉さんを連行した。もう一人の学習者・石宝山さんも連行された。

秦さんが連行された後、妻の病状はショックで悪化し、恐怖と悲しみに陥った。高齢の姑は嫁の面倒を見ることができず、いつも涙を流していた。秦さんが連行されて24日後、旧正月の4日目、妻は亡くなった。

迫害で家庭崩壊した趙国坤さん

5カ月近く不当に拘禁されていた趙国坤さん（46歳女性）は4月15日、秘密裏に裁判で懲役3年6カ月の実刑判決を宣告され、吉林省の長春女子刑務所に移送された。

趙国坤さんの父親の趙旭東さん、母親の李艶さん、弟の趙国興さんは皆、1996年に法輪功を学び始めた学習者である。母親の李艶さんは迫害され、2012年2月5日に亡くなった。61歳だった。父親の趙旭東さんも迫害により、2023年8月10日に亡くなった。享年77歳。

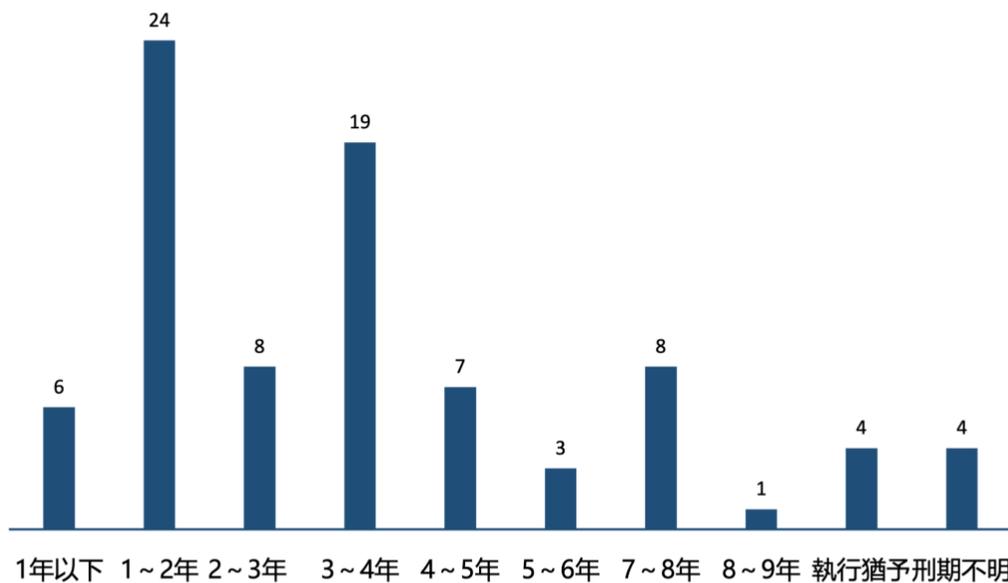


2023年5月4日夜、趙国坤さん、父親の趙旭東さん、弟の趙国興さんは、自宅に押し入った吉林市国保および派出所の警官らにより不当に連行された。父親と弟は哈達湾派出所に拘束され、趙国坤さんは吉林市留置場で拘束された。弟の趙国興さんは翌日帰宅し、趙国坤さんは13日後に帰宅した。父親の趙旭東さんは1カ月近くの不当拘禁後に帰宅したが、精神的、肉体的拷問によりダメージを受け、8月10日早朝に死亡した。

2023年12月6日夜、趙国坤さんは再び派出所の警官らに連行された。それ以来、家族には何も知らされないままだった。そして今年4月15日、趙国坤さんは非公開裁判にかけられ、懲役3年6カ月の判決を言い渡された。趙国坤さんが吉林省長春女子刑務所に拘禁された後、家族は初めて知らせを受けた。

1999年7月、江沢民が法輪功への迫害を発動して以来、趙国坤さんの家族は様々な迫害を受けた。弟の趙国興さんは、労働教養所と刑務所で11年以上の迫害と拷問に耐えてきた。

2024年4月に判明した、不当判決を宣告された84人の刑期別人数



17年6カ月の迫害を受けた楊将威さん 再び連行

遼寧省葫蘆島市綏中県の学習者・楊将威さん（55歳男性）は4月19日、再び身柄を拘束された。

中共による法輪功への迫害が始まって以来、楊さんは法輪功を学んでいるとして3回の労働教養処分を科され、計7年6カ月拘禁されていた。さらにまた2008年に県裁判所に懲役10年の不当な判決を宣告され、4カ所の刑務所で拘禁された。拘禁は合わせて17年半に及び、過去25年間の迫害の中で、

家族と過ごせたのはわずか7年余り。

楊さんは、ある電気工事会社に勤めていたが、会社側はプレッシャーを受け、楊さんを解雇した。楊さんはアルバイトで家計を維持することとなったが、楊さんの母親は息子の度重なる連行で打ちのめされ、病に倒れた（2022年に亡くなるまで、6年間寝たきりの状態）。楊さんの父（84歳）は重度の難聴と視力障害に苦しんでいたが、楊さんが

連行されると、うつ病になり食欲もなくなった。

再び連行

今年4月19日、楊さんは「法輪大法は素晴らしい」というステッカーを貼っていたところを、派出所の私服警官と身元不明の女性に呼び止められ、身柄を拘束された。

その後、綏中県国内安全保衛部門（法輪功迫害の実行機関）の警官らは楊さんの家に押し入り、法輪功の

書籍『轉法輪』1冊、音楽プレーヤー2台、カレンダー4冊を押収した。

派出所の徐所長はその夜、楊さんの家族に3日間の行政拘束を命じたと通知した。3日後の月曜日（4月22日）、所長は楊さんを刑事拘留し、拘留期間を7日に延長した。

楊さんの弁護士と妻は4月24日に派出所を訪れ、訴訟代理申請書を提出したが、受理されなかった。2人は、綏中県検察庁に代理人申請を拒否した

派出所を告訴したが、不服申立事務所は、当初2人の話に聞く耳を持たなかった。紆余曲折を経て、ようやく受理された。

警察は4月25日午後、案件を検察庁に提出した。楊さんの弁護士は翌日に「逮捕不許可申請」等の4つの書類を検察庁に提出した。

4月26日、康検事は留置場で楊さんを取り調べた。5月1日、家族は綏中公安局が楊さんに逮捕状を発行したと告げられた。

日本の議員、法輪功学習者・王乖彦さんの即時釈放を求める

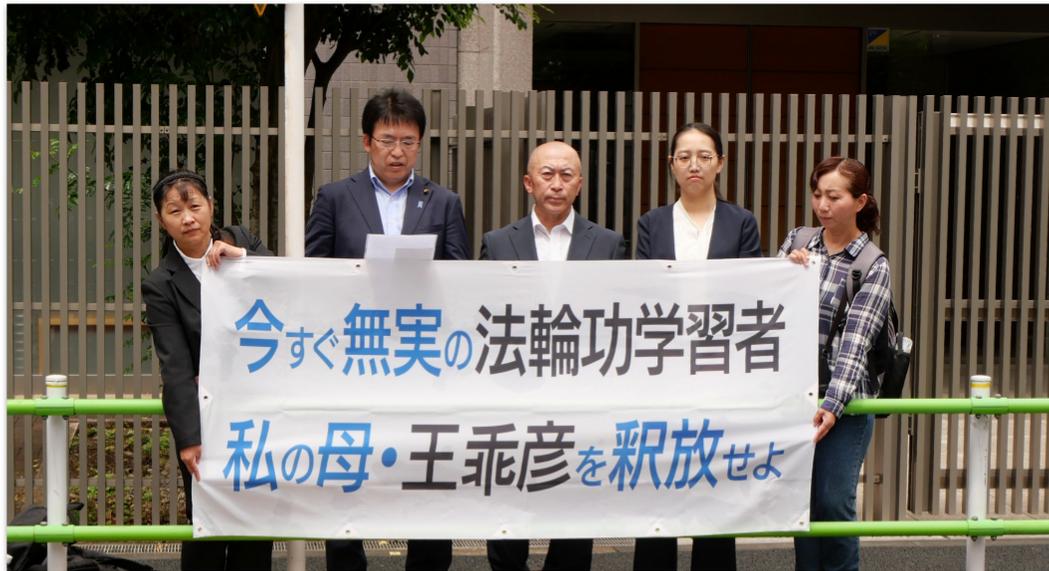
東京の中国大使館前で5月28日、地方議員と学習者が中共によって不当に連行された学習者・王乖彦（おうかいげん）さんの釈放を訴えた。

この日、SMGネットワーク（中国における臓器移植を考える会）代表である逗子市議会議員・丸山治章氏は「忠告書」を読み上げ、中国大使館に投函した。

中国で起きている迫害

カナダの人権弁護士であるデービッド・マラス氏の調査によると、中共は、良心の囚人から臓器を摘出し、年間6万から10万件の違法な臓器移植を行っている。

そして英国ロンドンの民衆法廷は「強制的な臓器摘出は、中国で長年にわたって行われており、法輪功学習者はその主要な供給源である」と発表した。



■「忠告書」を読み上げる丸山治章氏（左から2番目）

丸山議員は忠告書で、迫害されている人々への弾圧と、強制的な臓器摘出を停止するよう中共政府に要求した。また、連行された学習者4人、王乖彦さんを含む全員の釈放を訴えた。王乖彦さんは陝西省で教師を務める学習者で、1999年以降、中共による迫害を受け続けた。今年4月11日

に警察に連行され、留置場に拘禁された。家族との面会も許されなかった。

娘の張一文さんの訴え

日本在住の学習者である張一文さんは、良心的で正義ある人々に、母親の王乖彦さんを救出するために協力を求めている。張さんは公開状を読

み上げ、中国大使館に投函した。

張さんは「母は25年間、不当な判決で何度も拘禁され、私が母と過ごした時間は5年にも満たないのです。現在、留置場は家族の面会を拒否しています。母の状況について何度も電話で尋ねましたが、

警察と留置場は回答を拒否しました」と語った。

「諦めないで一緒にやっていきたい」

丸山議員は「親が無実の罪で何の理由もなく連れ去られ、連絡が取れなくなる状況は想像を絶するもの。（娘の）張一文さんが中国語で公開状を読み上げるのを聞いて、私は中国語が理解できなくても、その苦しみや絶望が伝わってきました」と語った。

そして「中国の法輪功学習者がどうして強制収容されるのか、全く理解できません。中国の学習者も命がけで自分たちの正義を訴えているわけですが、それは絶対に無駄にはなりません。諦めないで一緒にやっていきたい、一緒に戦っていききたいと思っています。正しいことは最後には認められます」と応援メッセージを送った。

米国 信教の自由に関する報告：中共は未だに自由を侵害

米国国際宗教自由委員会（USCIRF）は5月、2024年度の年次報告書を発表した。同報告書によると、中国における信仰の自由はさらに悪化し、中共は法輪功を迫害し続けていると述べた。

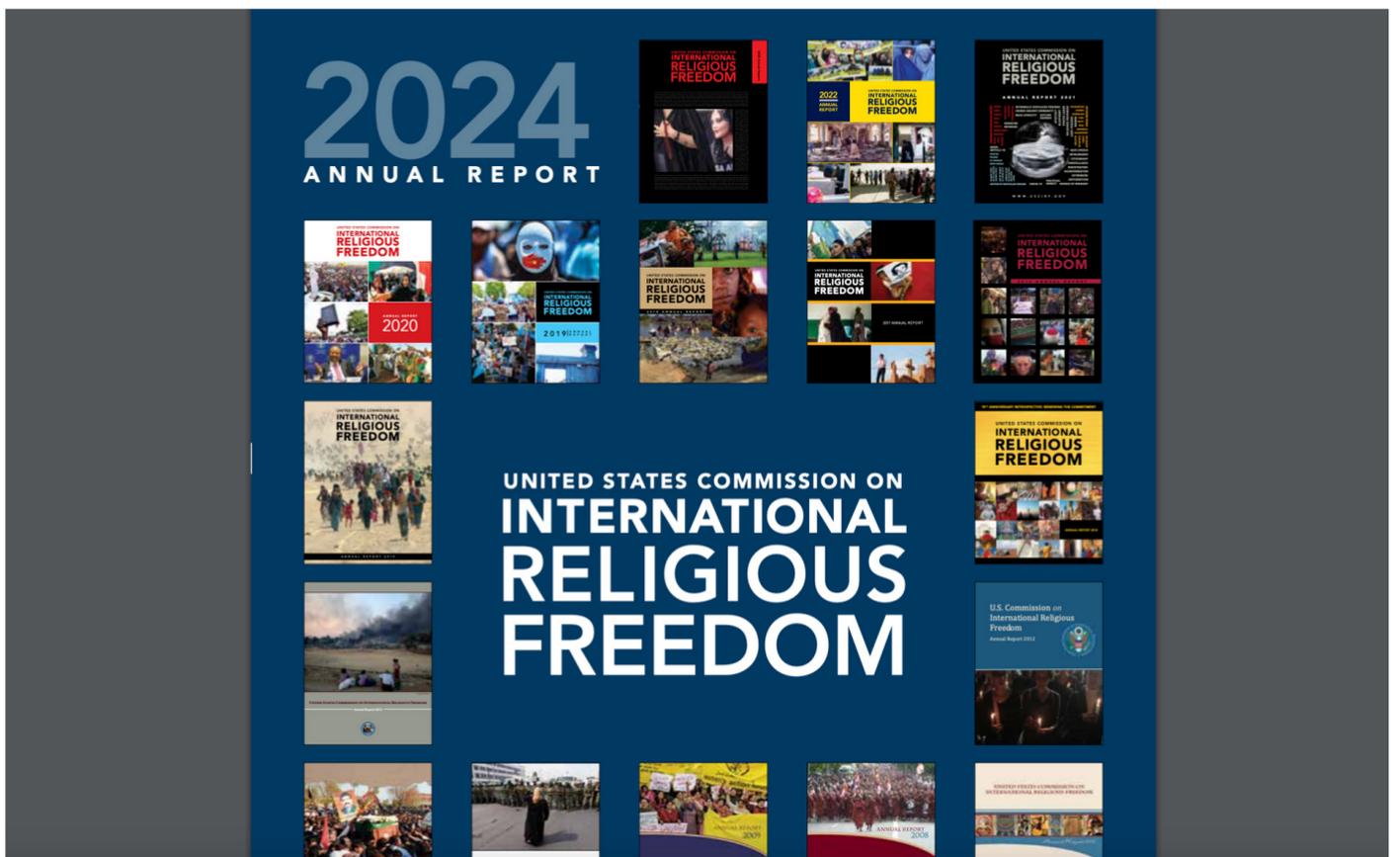
最初のUSCIRF年次報告書は2000年5月に発表され、中国やロシア、スーダンに焦点を当てていた。未だに中共当局は、信仰の自由を侵害する加害者である。

USCIRFは米国連邦政府の独立した諮問機関で、世界各国における信仰の自由の状況や、侵害の有無を監視し、米国議会等に政策提言を行う。同報告書では、中共を含む12カ国を「特別に懸念すべき国」としている。

2023年に迫害で死亡した学習者は209人

同報告書によると、2023年は法輪功学習者に対して6514件の不当な嫌がらせや逮捕、1190件の実刑判決、迫害による209人の死亡記録があった。また中共は、海外の宗教団体も弾圧した。米国政府は2023年、中共のために違法行為に従事した者を訴追した。

例えば2023年4月、米司法省は中共の「秘密警察署」を運営したとして、盧建旺と陳金平を起訴した。



■国際宗教自由年次報告書の表紙（USCIRF）

また同年5月、米司法省は、中共による学習者に対する国境を越えた弾圧を推進した陳軍と林峰を起訴した。

中共は生きたまま臓器を摘出

USCIRFのエイブラム・クーパー委員長、フレ

デリック・A・デイビー副委員長も意見を表明した。両氏は、中共のためのロビー活動を禁止することが急務と主張した。そして中共は、学習者やウイグルの人々から臓器を摘出しており、中には摘出時にまだ生きていた者もいたと述べた。

2023年にはクリス・スミス下院議員が「強制臓器摘出停止法案」を提唱し同年3月に米下院を通過した。スミス下院議員は「生体臓器摘出は中共にとってビジネスであり、衰える気配がない」と述べた。そして「中共のもとで毎年6万～10万人の被害者が冷酷にも

殺されている。生きたまま臓器を摘出することは人道に反する犯罪である」、「大量臓器摘出のドナーには、ウイグル人や法輪功学習者が含まれている。彼らは健康であるために臓器摘出の標的となった」と指摘した。

姿勢や服装の乱れは道德の喪失

幼い頃、「行儀良く、立つ時も座る時も姿勢を崩さず、食べる時にテーブルマナーを守るように」と躰けられてきました。当時は、その深い意味を知らず、表面的な美と醜、教養と粗野の違いと理解していました。

昨今では、仕事から帰ると着替えずにリビングのソファに横たわったり、スリッパを履いて出かけたり。髪を乱しパジャマを着て街に出る人、長い髪を伸ばした男性、穴が開いたズボンをはく人、ドクロマークが付いた服装、靴、帽子、リュックサック、アクセサリなど、こうした乱れは、どこでも見かけます。今改めて古典を読んでみると「立つ時は立つ姿勢、座る時は座る姿勢、食べる時はマナーを守る」という言葉に込



明慧網
Copyright © 2022 Minghui.org

められた深い意味がよく分かりました。

姿勢や服装の乱れは礼節と道德の喪失

『尚書・洪範』には、五つの重要なことが書かれていますが、その一つ目が「外貌」です。老若は秩序正しく、手を合わせてお辞儀をする等と書かれています。

服装といえば、中国古代の皇帝は山と龍の文様、士は

「己」の字形の文様の服を着用し、乗る馬車も、行進の速さも身分によって違いました。

「人を敬って礼儀をわきまえば、恥を遠ざけられる」と孔子は言いました。姿勢や服装の乱れは、内心から礼節と道德を失ったことの現れです。

中国古代の『漢書』には「奇怪な服を着る人が現れ、これは服の妖という」と記されています。

出征で雑色の衣服

『左氏伝』では、晋の献公が申生太子に出征を命じ、金塊を身に付けさせました。晋の大夫はこれにため息をついて、「太子が出征する時期や、服装はいずれも成敗を明示している。大王は、太子を遠ざけようとしているのだ。」と言いました。

ある大臣は「出征する人は決まった服装を着るべきだ。太子は今回、正式な礼服を得られずに雑色の服を着なければならなかった。大王の思い

は聞かなくても分かる」と言いました。

別の大臣は「雑色の衣服は正常でないことを示し、金塊は帰って来ないことを象徴している。大王は、太子を害そうと考えている」と言いました。そしてついに申生太子が自殺したことが、「服の妖」の一説を裏付けました。

髪型や化粧

桓帝の時、都の女性は曲がった眉を描きました。両眼の下にファンデーションを塗って涙目のようにし、これを「涙化粧」といいました。そして髪を頭の左側か右側に結び、これは「墮馬の髪」といい、笑う時はまるで歯が痛いような表情をしました。

こうした化粧や髪型は、大將軍・梁冀の妻によるものでした。これは「服の妖」に近いのです。梁冀家は一時、天下の実権を握りましたが、全員処刑されました。

『文献通考』によると、唐末期の都の女性は髪を顔の両側に分け「椎髻（ついでい）」のような形をして「家離れ髪」と呼ばれました。当時は瑠璃を原料にかんざしを作るのが流行っていました。「家離れ髪」と「瑠璃のかん

ざし」も「服の妖」とされました。

服装を整えることの大切さ

前漢末、当時の皇帝、更始帝は都を洛陽に移しました。更始帝が連れてきた士官らは庶民の頭巾をかぶりました。

洛陽の人々は嘲笑い、長老たちは「服の妖は不吉であり、災いが皇帝に降りかかる」と嘆きました。その後、更始帝は戦に敗れ、反軍に斬られました。

後漢になると、光武帝はかつての漢の官吏と同じ冠服を着て入城しました。漢の冠服の威儀を見た役人は喜んでいました。光武帝は前漢末期の混乱を終結して後漢を築き、その王朝は200年続きました。

天は道義を用いて人間の行為を規制しており、人間が天を敬い道德を重んじれば、災いを避けて通ることができません。人が自分の姿を道德と礼儀に合うように整えることは、天地を敬い、祖先等を尊敬することの現れです。同時に、そのように慎む人はきっと欲望と魔性を抑え、徳を守ることができるのです。

先史時代に彫刻された石

ペルーで発見された石の彫刻

1966年5月13日、ペルーのイカに住むハビエル・カブレラ・ダルケア博士は、奇妙な石を受け取りました。先史時代に詳しい博士は、石に彫られた動物が絶滅した魚だと分かりました。博士は石を売っていた農家から数千個の石を購入し、その後、約2万個の石を集めました。

これらの石は、硬い安山岩でした。その彫刻には、彗星や星といった天体を観測する学者、内臓手術を行う医師、楽器を演奏するバンド、さまざまな魚や鳥、恐竜、世界地図などが描かれていました。数万もの石の彫刻には、人類が恐竜や巨人と共存した社会が描かれていました。

信じない進化論者

進化論の支持者は、これらの発見が真実だとは信じていません。農家が本を見て彫ったと主張しています。メディアでよく使われている証拠は、石を発見した農家がメディアに「石は偽造したものだ」と語っていたことです。

しかしこれは、投獄を免れるためについた嘘です。ペルーの法律では、考古学的発見物の販売は禁止されており、当局は農家のウシュヤさんを逮捕しました。彼は政府に「本にあった図案に沿って彫った石だ」と説明し、メディアには「石を偽造した」と語り、刑務所に行かず済みました。

賈作だとすれば、1960年代に一人の農夫が短期間に数万の硬い火山岩をどうやって彫ったのかということです。これらの石の彫刻は多岐にわたっており、緻密に描かれて

います。教育も受けたことのない農夫が、どのようにして彫れたのでしょうか？

恐竜の皮膚の模様

1960～1970年代、人類は恐竜の皮膚の詳細を知りませんでした。当時は考古学上、皮膚の記述がありませんでした。ペルーの彫刻石は1960年代に発見されたものですが、恐竜は独特の皮膚の模様で描かれていました。しかし人類が恐竜の皮膚の化石を発掘したのは、1990年代に入ってからです。石に彫られた恐竜の皮膚が、考古学的発見より数十年も早いことに学者たちも驚きました。一人の農夫が本を見て彫ったのだとすれば、どのようにして数十年後の化石発見を予測できたのでしょうか？

また、彫刻の溝に存在する酸化層が彫刻の表面に形成されますが、その年代は彫刻よ

りも後のものであると考えられています。地質学者のエリック・ウルフ博士とボン大学の鉱物学・石油学研究所は、石の溝の酸化層の年代を測定しました。その結果、溝の酸化層は、少な

くとも1万2000年以上前のものであることが分かりました。つまり、科学的な検証により、この石の彫刻は、現在の人類文明のものではないと判明したのです。



■天体観測模様の彫刻石

写真特集



- ① 広島 原爆ドームの対岸の親水テラスで開かれた「水辺のコンサート」（5月19日）。法輪功の五式の功法の実演、腰太鼓の踊り、音楽に合わせた書道のパフォーマンス、ピアノ演奏、物語の朗読などを披露
- ② ポーランド 世界法輪大法デーの祝賀活動で、動功を披露
- ③ 台湾 世界法輪大法デーのステージで、子供達が元気よく『洪吟』の詩を暗唱した
- ④ シドニー 世界法輪大法デーを舞踊で祝う
- ⑤ ソウル 世界法輪大法デーに静功を披露
- ⑥ ニューヨーク 世界法輪大法デーに巨大な「法輪大法好（法輪大法は素晴らしい）」の旗を掲げる

『明慧インターナショナル・30周年特別号』



法輪功が1992年に伝えだされてから、世界130カ国、1億人に愛好されている現在までの状況を紹介。

また、迫害制止を求めた勇気ある行動、世界各地からの声援などを掲載。

無料ダウンロード
PDFファイルの

